

2025年度

(秋期・春期)

久留米大学大学院心理学研究科

(前期博士課程)

学 生 募 集 要 項

- ◇ 一 般 入 試
- ◇ 社会人一般入試
- ◇ 社会人推薦入試
- ◇ 外国人留学生入試

久 留 米 大 学

目 次

アドミッション・ポリシー	1
入 試 日 程	2
出 願 手 続	2
一 般 入 学 試 験	5
社 会 人 一 般 入 学 試 験	6
社 会 人 推 薦 入 学 試 験	7
外 国 人 留 学 生 入 学 試 験	8
試 験 科 目	9
出願資格の個別審査・事前面談・第二志望制度	10
長 期 履 修 制 度	11
学 納 金	12
学納金減免制度・奨学金制度	13
大学院心理学研究科案内	14
教 員 紹 介	16

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがあるため受験はできません。ただし、症状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験ができない場合であっても、追試験等の特別措置および入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理は十分に注意してください。

個人情報の取扱いについて

個人情報の利用

- ① 本学が入学試験業務に際し取得したあなたの個人情報は、本学における出願処理、書類不備の連絡（これはあなたの在籍校に対し行うこともあります）、入学試験の実施、合格した場合の通知・連絡、入学手続に関する書類の送付・連絡、入学手続をした場合の資料等の送付に利用します。
- ② 本学は、上記の個人情報を、各種統計資料作成のために利用します。統計資料の公表に際しては、個人が特定できないように処理します。

大学院心理学研究科 アドミッション・ポリシー

1 基本理念

心理学の基礎的研究を中心とした学術研究の推進とともに高度の心理学的な専門能力と実践力を有する人材の育成及び基礎的・先駆的な学術研究を推進可能な研究者を養成する。

2 教育の目的

◇前期博士課程 臨床心理学専攻

臨床心理学における優れた学識と実践力を有する高度専門職業人及び研究者の養成を目指す。

◇前期博士課程 人間行動心理学専攻

心理学における知覚・認知分野、教育・発達分野並びに社会・集団分野の優れた学識と実践力を有する専門家及び研究者の養成を目指す。

◇後期博士課程 心理学専攻

人間行動心理学及び臨床心理学の両分野における基礎的・先駆的な学術研究を推進可能な優れた研究者の養成を基本的な役割とするとともに、心理学に関する特定の職業等に必要の高度の専門的知識と能力の育成を目指す。

3 求める学生像

◇前期博士課程 臨床心理学専攻

心理学の基礎的知識を有しており、臨床心理学に関する研究力と実践力を積極的に身につける意欲を持ち、将来研究や臨床の分野で仕事に就くことを目指す人。

保健医療や福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野などで仕事に従事している社会人で、臨床心理学に関する研究力を身につけるとともに公認心理師や臨床心理士の資格を取得することを目的とし、高度な専門的知識やスキルを将来研究や臨床現場に活かすことを目指している人。

◇前期博士課程 人間行動心理学専攻

心理学の基礎的知識を有しており、知覚・認知・教育・発達・社会心理学等に関する研究を行う意欲を持ち、専門的知識や研究力を将来研究・教育・医療・福祉等の分野に活かすことを目指している人。

保健医療や福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野などで仕事に従事している社会人で、心理学に関する研究を行って修士号を取得することを目的とし、専門的知識や研究力を将来研究や現場に活かすことを目指している人。

◇後期博士課程 心理学専攻

高度の専門的研究力を身につけ、研究職等に就くことを目指している人。前期博士課程までに一定水準の心理学に関する研究成果を修めており、後期博士課程在学中に展開できる明確な研究計画を持ち、着実に研究成果を積み上げていく学問的忍耐力をもって、規定の期間内に学位論文の完成が見込める人。

《入試日程》

秋期入試（一般、社会人一般、社会人推薦、外国人留学生）

出願期間	試験日	合格発表日	入学申込締切日	入学手続締切日
2024年8月1日（木） ～8月16日（金） 【必着】	2024年9月4日（水）	2024年9月19日（木） 発送	2024年9月30日（月） 【必着】	2024年12月12日（木） 【必着】

春期入試（一般、社会人一般、社会人推薦、外国人留学生）

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
2025年1月6日（月） ～1月15日（水） 【必着】	2025年2月11日（火・祝）	2025年2月21日（金） 発送	2025年3月10日（月）【必着】

※ 地震・台風等の自然災害により入学試験の実施が困難な場合は、試験日を変更する場合がありますので、本学ホームページを確認してください。

※ 身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して特別な措置を必要とする場合は、出願時までに入試課へ問い合わせてください。希望する措置を検討し、措置の有無や内容を連絡します。

《募集人員》 臨床心理学専攻 15名
人間行動心理学専攻 5名

《出願手続》

(1) 提出方法

◇心理学研究科ホームページから「学生募集要項」「出願書類」をプリントアウトし、本研究科所定の出願書類提出用ラベルを使用し、郵便局の窓口から「簡易書留」にて郵送してください。窓口受付は、月～金曜日（祝日を除く）9時～17時です。窓口に出願書類を持参する場合は、入学検定料を納入後、持参してください。

◇外国在住者は日本国内在住の身元保証人等を通じて手続をしてください。

◇**出願書類はすべて締切日【必着】です。注意してください。（消印有効ではありません）**

◇出願書類に不備がある場合は受理できません。また出願後の提出書類の内容変更はいかなる理由があっても認めません。なお提出された出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。

(2) 出願書類提出先

久留米大学 入試課

〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635 TEL: 0942 - 44 - 2160 FAX: 0942 - 43 - 4539

(3) 入学検定料

32,000円

入学検定料は、本学所定の振込依頼書に必要事項を記入のうえ、銀行の窓口（ゆうちょ銀行を除く）にて納入してください。出願開始1週間前より納入可能です。なお、一度納入した入学検定料は返還しません。銀行での取り扱い時間に注意してください。（振込依頼書は、心理学研究科ホームページ「出願書類」よりプリントアウトしてください）

(4) 提出書類

出 願 書 類	留 意 事 項	
入 学 願 書	本研究科所定の用紙に記入してください。	共 通
履 歴 書	本研究科所定の用紙に記入してください。	共 通
写 真 票 入学検定料納付票	本研究科所定の用紙に記入してください。 入学検定料 32,000 円。本研究科所定の振込用紙を使用し、振込送金証明書を貼付してください。(納入した検定料は返還しない)	共 通
研 究 計 画 書	本研究科所定の用紙に記入してください。(同様の様式であればパソコン等による作成可) ※入学後の研究計画について以下の内容を簡潔にまとめてください。 (1) 研究目的 (何を、どこまで明らかにしようとするかが分かるように焦点をしぼり、具体的に記入する) (2) 研究計画・方法 (研究目的を達成するための研究計画と方法を具体的に記入する) (3) 研究の特色・独創的な点 (4) 本研究に関する出願者自身の成果 (5) 引用・参考文献 (数編) (6) これまでの研究 (卒業論文等)	共 通
成 績 証 明 書*	出身大学の所定の用紙に当該大学 (学部) 長が証明したものを提出してください。	共 通
卒 業 (見 込) 証 明 書*	出身大学の所定の用紙に当該大学 (学部) 長が証明したものを提出してください。2025 年 3 月までに卒業見込みの者は卒業見込証明書を提出してください。中国の学校を卒業している場合は、卒業証書の写しも提出してください。	共 通
在 職 証 明 書	本研究科所定の用紙に、在職機関の長が証明したものを提出してください。	社会人推薦 入試のみ
推 薦 書	本研究科所定の用紙に、在職機関の長が記入し証明したものを提出してください。(同様の形式であればパソコン等による作成可)	社会人推薦 入試のみ
長 期 履 修 制 度 申 請 書	本研究科所定の用紙に記入してください。	長期履修制度 希望者のみ
健 康 診 断 書 (該 当 者 の み)	健康上の理由で入学試験時に特別措置を希望する出願者のみ、出願 3 ヶ月以内に発行されたものを提出してください。	該 当 者 の み
日 本 語 能 力 の 証 明 書	日本語能力試験または日本留学試験の証明書を提出してください。	留 学 生 の み
出 願 書 類 提 出 用 ラ ベ ル	必要事項を記入し、角形 2 号封筒の表面に剥がれないように貼付してください。	共 通

(注 1) 日本国内在住の外国人で出願を希望する者は、事前に入試課まで問い合わせてください。

住民票、留学生調査書 (本学所定用紙) 等の追加書類が必要です。

(注 2) 日本国外在住者は別途書類が必要です。出願時までに入試課まで問い合わせてください。(秋期入試のみ)

(注 3) 外国語で作成された証明書等の書類は、日本語訳を必ず添付してください。

(注 4) 状況により、上記以外の書類の提出を求める場合があります。

(注 5) 改姓等により証明書と氏名が異なる者は、戸籍抄本等 (証明ができるもの) を提出してください。

※証明書には氏名、生年月日、入学年月、卒業年月が記載されていることを必須とします。

卒業証明書または成績証明書のいずれの証明書にも記載されていない場合は、在籍期間が分かる証明書 (例 : 在学期間証明書) 等を提出してください。

(5) 受験票の送付について

受験票は、出願受付締切後、本人宛に送付します。試験日 3 日前までに受験票が届かない場合は、入試課へ問い合わせてください。受験票は試験当日必ず持参してください。

《試験当日の注意事項》

- ① 試験場は 8 時に開室します。受験生は 8 時 55 分までに各自受験番号の席に着席してください。9 時から試験に関する注意事項の説明があります。
- ② 試験開始後 20 分を経過した後は入室できません。交通渋滞などを考慮し、時間に余裕をもって試験場へ到着してください。なお、入学試験専用の駐車場はありません。
- ③ 受験票は、必ず持参してください。受験票を紛失、または持参し忘れた場合は、早めに係員へ申し出てください。
- ④ 試験時は携帯電話の電源を切ってください。
- ⑤ 受験票は試験中、常に机上の見やすい所に置いてください。
- ⑥ 受験票の他に、試験時間中、机の上に置けるものは、以下の《机の上に置けるもの》を確認してください。これ以外の所持品を置いてはいけません。
- ⑦ 試験開始後は、その科目の解答用紙の回収が終わるまで退室できません。
- ⑧ 試験途中やむを得ない理由で退室を希望する者は、監督者に申し出てください。
- ⑨ 問題用紙、解答用紙、下書き用紙には受験番号を必ず記入してください。受験番号の記入もれ・誤った記入は採点できないことがありますので、注意してください。
- ⑩ 解答用紙には、解答以外の不必要な文字、符号を記入しないでください。
- ⑪ 不正行為等を行った場合は、その場で受験中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての成績を無効とします。なお、警察に被害届を出す場合があります。
※「不正行為等の取扱い」については、ホームページを確認してください。
<https://best.kurume-u.ac.jp/admissions/topics/ng/>
- ⑫ 最終科目終了後は、特に事前の指示がない限り随時帰宅してかまいません。

《机の上に置けるもの》

所持品	注意事項
黒鉛筆・シャープペンシル	黒い芯
消しゴム	プラスチック製
鉛筆削り	電動式・大型のもの・ナイフ類は除く
時計	辞書や電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音がするもの、大型のものを除く。試験室には時計はありませんので、必ず持参してください。
ハンカチ	無地のもの
ティッシュペーパー	袋または箱から中身だけ取り出したもの
辞書	辞書持込可と記載された科目で指定されたもの（電子辞書不可）

※試験中に使用できるものは、眼鏡、マスク、目薬、座布団（無地のもの）、ひざ掛け（無地のもの）とします。

《合格発表》

受験者全員に合否を郵送にて通知します。合否に関する電話での問い合わせには一切応じません。

《入学手続》

合格通知を受けた者は、本研究科所定の書類および指示にしたがって、手続をしてください。

《一般入学試験》

出願資格

下記のいずれかに該当する者

- ① 学校教育法第 83 条に定める大学の卒業生、または 2025 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者、または 2025 年 3 月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2025 年 3 月までに修了見込みの者
- ④ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または 2025 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- ⑥ 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をもその後に入学させる本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で 22 歳に達した者(P10 参照)
- ⑧ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2025 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑨ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

入学者選抜方法

入学者の選抜は、研究計画書、筆記試験（小論文および専門科目）、口述試験および出身大学（学部）長が証明する成績を総合して判定します。

試験日	試験科目	配点	時間	試験会場
秋期：2024年9月4日(水) 春期：2025年2月11日 (火・祝)	筆記試験	小論文	100点	9:15~10:45
		専門科目	150点	11:15~12:45
	口述試験	100点	13:50~	久留米大学 御井キャンパス

※試験当日は 8 時 55 分までに集合してください。

※試験の具体的内容は、P9 の試験科目を確認してください。

《社会人一般入学試験》

出願資格

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当する者で、2025年3月までに職業経験を2年以上有する者、または大学卒業後、5年以上経過している者（出願時の在職は問わない）

*社会人一般入学試験を希望する場合は、事前に大学院担当教員との面談が必要です。（詳細はP10参照）

入学者選抜方法

入学者の選抜は、研究計画書、筆記試験（小論文および専門科目）、口述試験および出身大学（学部）長が証明する成績を総合して判定します。

試験日	試験科目	配点	時間	試験会場
秋期：2024年9月4日(水) 春期：2025年2月11日 (火・祝)	筆記試験	小論文	100点	9:15～10:45
		専門科目	150点	11:15～12:45
	口述試験	100点	13:50～	久留米大学 御井キャンパス

※試験当日は8時55分までに集合してください。

※試験の具体的内容は、P9の試験科目を確認してください。

《社会人推薦入学試験》

出願資格

社会人一般入学試験の出願資格に準ずる。ただし、出願時に心理・教育・医療・福祉など心理学の専門知識を必要とする職業に就いており、勤務先からの推薦により在職のまま派遣される者

※社会人一般入学試験と同様、社会人推薦入学試験を希望する場合は事前に大学院担当教員との面談が必要です。(詳細はP10参照)

※土曜日や夜間のみで修了できるような別コースを設置してはおりません。一般入学者と同様の授業を受講することになります。

※臨床心理学専攻は、履修状況により勤務しながらの通学が困難になることがありますので、事前面談の際に必ず教員へ確認してください。

入学者選抜方法

入学者の選抜は、研究計画書、筆記試験(小論文)、口述試験および出身大学(学部)長が証明する成績を総合して判定します。

試験日	試験科目		配点	時間	試験会場
秋期：2024年9月4日(水) 春期：2025年2月11日 (火・祝)	筆記試験	小論文	100点	9:15~11:15	久留米大学 御井キャンパス
	口述試験		100点	11:35~	

※試験当日は8時55分までに集合してください。

※試験の具体的内容は、P9の試験科目を確認してください。

《外国人留学生入学試験》

出願資格

日本国籍を有しない者で下記のいずれかに該当し、入学後「留学」の在留資格が取得できる者または変更できる者【外国在住者は秋期入試のみとする】

- ① 学校教育法第 83 条に定める大学の卒業生、または 2025 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者、または 2025 年 3 月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2025 年 3 月までに修了見込みの者
- ④ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または 2025 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑤ 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- ⑥ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で 22 歳に達した者(P10 参照)
- ⑦ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2025 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑧ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したのものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または 2025 年 3 月までに修了見込みの者

入学者選抜方法

入学者の選抜は、研究計画書、筆記試験（小論文および専門科目）、口述試験および出身大学（学部）長が証明する成績と日本語能力の証明書を総合して判定します。

試験日	試験科目	配点	時間	試験会場
秋期：2024 年 9 月 4 日(水) 春期：2025 年 2 月 11 日 (火・祝)	筆記試験	小論文	100 点	9:15~10:45
		専門科目	150 点	11:15~12:45
	口述試験	100 点	13:50~	久留米大学 御井キャンパス

※試験当日は 8 時 55 分までに集合してください。

※試験の具体的内容は、P9 の試験科目を確認してください。

《試験科目》

臨床心理学専攻・人間行動心理学専攻

入試種別	1 限目	2 限目	
	小論文	専門科目	
一般入試 ・ 外国人 留学生 入 試	<p>小論文 (英和辞書持込可)</p> <p>〔英文等の資料にもとづいて小論文 (日本語)の作成を課します〕</p> <p>※外国人留学生は、中国語が母国語の場合は「英和・英中・和中・中和」の4種類の辞書を持ち込み可とする。他の言語が母国語の場合は、この例に準ずる。</p>	<p>① 心理学研究の基礎 〔心理学史・研究法・統計法を 含む領域から出題します〕</p> <p>② 専門に関する問題 【臨床心理学専攻】 以下の領域より3問出題、 内2問を選択し解答する</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床心理学の基礎 心理アセスメント 心理療法 <p>【人間行動心理学専攻】 以下の領域より4問出題、 内2問を選択し解答する (「知覚・認知」、「教育」、「発達」、 「社会」)</p>	口述試験
社会人 一般入試	<p>小論文 (日本語による小論文作成を課します)</p>		
社会人 推薦入試	<p>小論文 (日本語による小論文作成を課します)</p>	口述試験	

※1 専門科目は、心理学検定のキーワード集レベルの専門知識を問います。

※2 臨床心理学専攻では、対人援助に関する自身の知識や経験を問うことがあります。

※3 辞書持込可と記載されている科目以外は辞書の持ち込みを認めません。専門用語辞典および電子辞書を用いることはできません。

《出願資格の個別審査》

出願を希望する者で、下記のいずれかに該当する者は、事前に出願資格審査を行います。希望者は、別途書類を配布しますので事前に入試課まで問い合わせてください。書類審査後に面接を行う場合があります。

(1) 一般・外国人留学生入学試験

短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等の修了者など大学卒業資格を有していない者であっても、2025年3月31日までに満22歳に達した者で、本研究科による個別審査により出願を認めることができます。

(2) 社会人一般・社会人推薦入学試験

短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等の修了者など大学卒業資格を有していない者であっても、2025年3月31日までに満24歳に達した者で、本研究科による個別審査により、出願を認めることができます。

【提出書類】 ○本研究科所定の申請書、履歴書、5,000字程度の論文
(場合により別途書類の提出を求めることがあります)

【提出締切日】 ○秋期：6月27日(木) 必着 春期：11月28日(木) 必着

《事前面談》※社会人一般入学試験・社会人推薦入学試験

社会人(一般・推薦)の受験を希望する場合は、大学院担当教員との面談が必要です。面談は、それぞれの社会経験を学問研究と結びつけながら自らの専門的力量を高めることを目指す人や、専門的な関心にそった研究を進める意志と意欲のある人を受け入れるために、本研究科を理解していただくことを目的としております。面談希望者は、下記の事前面談申込締切日までに入試課へ問い合わせてください。その後、必要書類を提出していただきますので、書類提出締切日までに送付してください。

○提出書類 本研究科所定の履歴書、志望理由書
○事前面談申込締切日 秋期 6月27日(木) 春期 11月28日(木)
○書類提出締切日 秋期 7月4日(木) 春期 12月5日(木)

《第二志望制度》

受験した専攻での選抜に漏れた場合、他専攻への入学を希望する者は、願書にある第二志望制度を選択してください。他専攻の定員に余裕がある場合、第二志望制度を選択した者の中から成績優秀な者を選抜することがあります。

《長期履修制度》

長期履修制度とは、社会人を対象に修学支援を行うことを目的とした制度です。本制度は、社会人が通常の修業年（2年間）を越えて一定の期間（3年間）にわたって、正規学生として計画的に教育課程を履修して修了できる制度です。

1 募集人数

若干名

2 対象者

職業を有している者で、社会人入学試験または社会人推薦入学試験にて受験する者で心理学研究科委員会が相当と認めた者

3 履修年限・履修条件

履修期間は一律3年とし、途中での短縮は一切認めません。入学後すみやかに指導教員と相談のうえ、3カ年の履修計画を立てそれに従い単位を取得してください。

4 学納金

入学後の学費（授業料・教育充実料・実験実習料）は通常修業年限である2年を3年間で分割して納入することになります。（P12 参照）

ただし、留年した場合は1年ごとに追加の支払いが必要です。

5 申請時期・方法

長期履修制度を希望する者は、大学院担当教員との面談時に申し出てください。面談終了後、出願書類提出時に長期履修制度申請書（本研究科所定の用紙）を提出してください。心理学研究科委員会にて検討し、適切であると認定した者へ合格通知と同時に長期履修者許可通知を行います。また、在学中に長期履修者への変更や長期履修者として許可後の一般履修者への変更は認めません。

《学 納 金》(2024 年度)

【一般履修者】

(単位：円)

項 目	1 年次		2 年次	
	入学時	後 期	前 期	後 期
入 学 金	240,000			
授 業 料	275,000	275,000	275,000	275,000
教育充実料	25,000	25,000	25,000	25,000
実験実習料	25,000	25,000	25,000	25,000
合 計	565,000	325,000	325,000	325,000

※ 本学卒業生は、入学金が半額（120,000 円）となります。

※ 2025 年度の学納金は、改定することがあります。

※ 臨床心理学専攻の入学者は、入学後に心理実践実習費 50,000 円を別途徴収します。

【長期履修者】

(単位：円)

項 目	1 年次		2 年次		3 年次	
	入学時	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
入 学 金	240,000					
授 業 料	184,000	184,000	183,000	183,000	183,000	183,000
教育充実料	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	15,000
実験実習料	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	15,000
合 計	458,000	218,000	217,000	217,000	217,000	213,000

※ 本学卒業生は、入学金が半額（120,000 円）となります。

※ 2025 年度の学納金は、改定することがあります。

※ 臨床心理学専攻の入学者は、入学後に心理実践実習費 50,000 円を別途徴収します。

《学納金減免制度（外国人留学生）》

外国人留学生のうち、学業成績、人物ともに優秀で、経済的に修学困難な者に対し、学納金の減免を行うことにより外国人留学生の勉学助成に寄与することを目的として学納金減免制度を設けています。

- ・採用者数：対象者の成績優秀者に適用
- ・減免額：入学金・授業料の半額

【手続締切：4月上旬頃】

《奨学金制度》

(1) 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は、人物、学業ともに優れ、経済的な理由のために修学困難な者に奨学金を貸与して、人材育成を目的とした育英奨学事業を行っている独立行政法人です。

第一種奨学金（無利子貸与）・第二種奨学金（有利子貸与）の種別があり、それぞれ学力基準と家計基準を満たした者が出願資格を得ることができます。

- ・貸与月額（2024年度入学者） 【手続締切：4月下旬頃】

第一種奨学金：50,000円 または 88,000円

第二種奨学金：50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円の中から希望により選択

(2) 久留米大学大学院奨学金

本研究科には、優秀な研究者および指導者の育成を図ることを目的とした奨学金制度が設けられており、学業、人物ともに優れ、健康であって、経済的理由により修学が困難と認められる者を対象に奨学金を貸与しています。

- ・貸与年額 600,000円
- ・貸与者数 4名（後期博士課程含む）
- ・返 還 本研究科終了後10年以内（利子1%）
- ・日本学生支援機構奨学金に不採用となった場合に、申込受付を行います。

(3) 外国人留学生への奨学金

◇久留米大学大学院私費外国人留学生奨学金

経済的に修学困難、かつ、学業、人物ともに優れた外国人留学生に対し、経済援助を行うことを目的として大学独自の奨学金制度を設けています。

- ・採用者数 8名（2023年度実績）
- ・支給額 月額30,000円
- ・支給期間 1年間
- ・手続締切 4月中旬頃

◇その他の奨学金

外国人留学生に対する奨学金制度として以下の奨学金があります。

学習奨励費（文部科学省）、ロータリー米山奨学金、平和中島財団奨学金、公益信託椎木正和記念アジア留学生基金奨学金、福岡県国際交流センター留学生奨学金、久留米留学生奨学金、朝鮮奨学会奨学金 等

大学院心理学研究科案内

1 大学院心理学研究科の概要

心理学研究科では、心理学の基礎的研究を中心とした学術研究の推進と共に、高度の心理学的な専門能力と実践力を有する人材の育成、および基礎的・先駆的な学術研究を推進できる心理学研究者の養成を目指しています。

本研究科には、前期博士課程と後期博士課程が設置されています。前期博士課程では心理学の基礎的知識を中心とした学術研究を推進すると共に、地域社会の要請に応じ、さまざまなライフステージにある人々の心のケアと人間関係の改善に応え、教育・福祉・医療などの分野で活躍できる高度な学識と専門技術を兼ね備えた有為の人材を養成します。

前期博士課程修了者には、修士の学位が授与されるほか、公認心理師と認定臨床心理士（臨床心理学専攻のみ）、および高等学校教諭（公民）の専修免許状など、各種の資格を取得するのに有利な条件を提供しています。

後期博士課程では、心理学の基礎的・先駆的な学術研究を推進できる優れた研究者の養成を基本的な役割とするとともに、博士の学位を取得して、将来心理学に関する特定の職業等に従事するのに必要な高度の専門知識と研究能力を備えた人材の育成を目指しています。

前期博士課程における臨床心理学専攻と人間行動心理学専攻の特徴の概要は以下のとおりです。

◇臨床心理学専攻

臨床心理学専攻は、(財)日本臨床心理士資格認定協会の第一種指定大学院に認定されています。本専攻は、心身の成長・発達、心身の健康・障害、心理臨床実践の視点から、高度の専門的な教育・研究・実習を行い、臨床心理学における優れた学識と実践力を有する高度専門職業人（公認心理師、臨床心理士など）の養成を図り、かつ研究者養成を目指します。

◇人間行動心理学専攻

人間行動心理学専攻では、人間行動と社会とのかかわりや、家庭・学校・社会の中で行われる人間形成のシステムを多面的な角度から学び研究します。将来そのような分野で専門的素養のある人材として活躍できる基礎的能力を身につけるために、知覚・認知分野、教育・発達分野並びに社会・集団分野の高度な知識を持った専門家および研究者の養成を目指します。

2 学位の授与

本研究科（前期博士課程）を修了した者には、「修士（臨床心理学）」または「修士（心理学）」の学位を授与します。

3 教員免許状の取得

本研究科においては、所要の基礎資格を有する者が教育職員免許法に定める所要単位を修得することによって、次の表の教員免許状を取得することができます。ただし、専修免許状は、高校教諭の一種免許状を所持していることが条件となります。

専攻名	免許教科の種類
臨床心理学専攻	高等学校教諭専修免許状 公民
人間行動心理学専攻	高等学校教諭専修免許状 公民

4 公認心理師受験資格の取得

臨床心理学専攻において、所定の科目を修得すれば「公認心理師」の受験資格を得ることができます。ただし、4年制大学において省令で定める科目を修得していることが条件となります。

5 臨床心理士受験資格の取得

本研究科は、財団法人日本臨床心理士資格認定協会から、臨床心理士の受験資格に関する第一種指定大学院の指定を受けています。臨床心理士の受験資格取得希望者は、臨床心理学専攻を必ず受験してください。

6 授業科目

心理学に関する高度な能力の修得を目指した授業科目を準備しています。授業科目は基礎科目と専門科目に大別され、第1年次においては各専攻の基礎科目を主として履修するほか、専門科目と論文指導を受ける教員の開講する科目を履修します。

第2年次においては各専攻の基礎科目と、主として論文指導教員が開講する科目を引き続き履修するとともに、その他の専門科目を履修します。

また、本課程の修了要件の一つである修士論文の作成に関しては、2年間にわたって当該指導教員の論文指導を受けなければなりません。 Semester制を導入していることにより、開講科目は若干の科目を除き、すべて半期完結の2単位であり、学生は各自の要望に合わせてさまざまな組み合わせで受講できる構成になっています。

講義等の内容は以下のホームページで閲覧できます。

<https://www.kurume-u.ac.jp/site/shinri/>

《教員紹介》

臨床心理学専攻

2024年4月現在 [五十音順]

担当教員	① 専門領域	② 資格	③ 研究テーマ	④ その他
石田 有紀 ★授業担当教員	① 公衆衛生学、疫学 ② 修士(心理学)、公認心理師、保健師、看護師、精神保健福祉士、産業カウンセラー ③ 触れるケアの心身やお互いの関係性におよぼす影響について実践研究を行っています。また、公認心理師養成における多職種連携教育(IPE)の構築に関心があります。 ④ ストレスマネジメントの実践(触れるケア、呼吸、マインドフルネスなど)に取り組みながら、一緒に学びたいと思っています。			
伊藤 弥生	① 臨床家族心理学(ブリーフセラピー・ナラティブセラピー) ② 博士(人間環境学)、公認心理師、臨床心理士 ③ 「LIFE(暮らし・命・人生)を大切に、その人らしく周りともよい関係を」という願いを持ち、アサーションの実践研究や、生殖医療における支援研究などを行ってきました。現在はSolution Focused Brief Therapy(SFBT)とNarrative Therapy(NT)を臨床・教育の柱とし、研究での活用にも関心があり、学校現場やスポーツ分野での実践研究も行っています。 ④ 家族療法好循環をめざし、SFBTとNTは“誰もがリソース(資質・資源)を持つこと”を最重視し引き出すことに注力します。“一番いい時間の使い方を考える”ブリーフセラピー精神で、学びあい一緒に育っていきましょう。			
岡村 尚昌	① 健康・医療心理学、神経・生理心理学 ② 博士(心理学)、博士(医学)、公認心理師、臨床心理士 ③ 多様な生理指標(唾液中バイオマーカー、心拍や血圧、アクチグラフやマット型睡眠計など)を用いたストレスのフィールド実験的研究を行ってきました。現在は、睡眠習慣の乱れがQOLの低下に及ぼすメカニズムや、ストレスを上手く対処する方法、ポジティブな心理状態と健康、ADHD児の学校適応力の育成などに関心があります。 ④ 「こころ」と「からだ」と「社会」という3つの大きな枠組みの中で、効果的な研究や臨床実践について一緒に学びましょう。			
吉良 悠吾	① 学校臨床心理学、認知行動療法 ② 博士(心理学)、公認心理師、臨床心理士、ADOS-2臨床使用資格 ③ 学校という場を通じて子どもたちの心の健康を育む方法を検討しています。具体的には、人との上手な付き合い方や考え方(個人内要因)、教師の教育行動(学校環境)、いじめ等の経験(校内イベント)と抑うつとの関連を研究しています。加えて、これらの研究成果を踏まえ、中学校や高校での心理教育プログラムの開発と実践や、教師教育を行っています。また最近、産業の場における教育行動の影響や、進行がん患者に対する心理的柔軟性に着目した緩和ケアに関する研究も行っています。 ④ Evidence-based practiceの考え方をもち、研究や臨床実践(認知行動療法)について一緒に学んでいきましょう。			
佐藤 剛介	① 社会心理学、臨床心理学、比較文化心理学、障害科学 ② 博士(文学)、公認心理師、臨床心理士、専門社会調査士 ③ 人々の心理や行動と環境の相互影響過程に関心があります。社会不安、ASD、ADHD、精神的健康や幸福感の規定因に対する社会生態学的アプローチを用いた研究、近年は障害者や、障害者の取り巻かれる環境についての研究も実施しています。環境の影響に関心があるため、環境の影響についての差異が明瞭な国際比較研究や国内地域比較研究、社会状況間比較研究等を行うこともあります。 ④ 研究も実践もできる臨床家を養成したいと思っています。			
田上 恭子	① 臨床認知心理学 ② 博士(教育学)、公認心理師、臨床心理士 ③ 心の問題の理解と援助に関して、記憶や認知に着目した研究を行ってきました。現在は特に死別や喪失への適応における記憶のはたらきに関心があり、「故人との継続する絆」理論に関する研究を行っています。 ④ 保健医療分野・教育分野での臨床経験を教育・研究に活かし、共に学び合いたいと思っています。			

富田真弓	<ul style="list-style-type: none"> ① 臨床心理学、心理査定学 ② 博士（心理学）、臨床心理士、公認心理師 ③ 乳幼児期や児童期の養育者支援や“心のゆとり”という視点からの心理的適応へのアプローチ、心理検査施行時の反応プロセスから適応するための対処行動を理解し、援助に役立てていくことに関心を持っています。 ④ 精神科病院やクリニック、大学の学生相談や小学校スクールカウンセラー等での臨床経験を生かし、現場で活躍できる心理臨床家を育成することを目指しています。
山本真利子	<ul style="list-style-type: none"> ① カウンセリング心理学、心理療法学 ② 博士（心理学）、公認心理師、臨床心理士、認定カウンセラー ③ ストレングスの認知行動療法、ブリーフサイコセラピーの中でもソリューション・フォーカストアプローチ（SFA）、ストレングスアプローチ、また、マイクロカウンセリング、グループワーク等に取り組んできました。おひとり、おひとりがもっておられます“強み”をどのようにセラピーの過程で見つけ、活かすのか、そのためにどのようなアプローチがあるのかに関心があります。 ④ クリニックや学校、学生相談での臨床経験を教育や研究に活かし、おひとり、おひとりの強みを活かしながら、楽しく一緒に成長できれば幸いです。

人間行動心理学専攻

2024年4月現在 [五十音順]

担当教員	① 専門領域	② 資格	③ 研究テーマ	④ その他
浅野良輔	<ul style="list-style-type: none"> ① 社会心理学 ② 博士（心理学）、公認心理師 ③ 幸福感、対人関係、子どもの社会性に関する研究を国内外の共同研究者とともに実施しています。そのための方法論として、ペアデータ分析やマルチレベル分析、縦断データ分析にも関心をもっています。 ④ 大学院の授業では、社会心理学にとらわれず、広く社会科学諸分野に関する書籍・論文の講義を行います。また、統計ユーザーとして心理統計学の成果をいかに活用していくかについても議論します。 			
園田直子	<ul style="list-style-type: none"> ① 発達心理学 ② 博士（心理学）、公認心理師 ③ 幼児期から青年期にかけての認知発達に関する基礎的な研究、青年期から成人期の時間的展望の問題、非定型発達・発達障害の理解など ④ 発達心理学は心理学のどの領域とも関連があります。また、生物・心理・社会的な観点から人の成長や変化を見ることが重要です。大学院の授業では将来心理士として役に立つ発達心理学の重要事項を中心にディスカッションをしながら学びます。 			
原口雅浩	<ul style="list-style-type: none"> ① 知覚心理学、実験心理学 ② 文学修士 ③ 運動知覚（誘導運動、運動視差、運動性興行効果、回車立体視）に関する研究、高次脳機能障害者（主に半側空間無視患者）の機能測定およびリハビリテーションに関する研究、構造方程式モデリングおよび項目反応理論による尺度構成（自律訓練の効果測定のための不安尺度の開発、養育者の育児不安尺度の開発） ④ 人の知覚・認知過程を探るため、さまざまな創意工夫をしながら刺激を作成し、装置を組み立てて実験していくことは、とても楽しい作業です。 			
安永悟	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育心理学、協同教育 ② 博士（教育心理学）、日本協同教育学会「認定上級トレーナー」 ③ 協同教育（学習）の理論的・実践的研究が中心です。具体的には授業改善、教師教育、高大社接続教育に関心があります。理論的にはBanduraの社会的認知理論、Sorrentinoの不確定志向性理論、Johnsonの社会的相互作用理論に依拠しています。 ④ 協同による人の変化成長に関心があります。 			

